

2017年(平成29年)7月8日(土)

源兵衛川の歴史紹介

三島 遺産登録記念し看板

三島市の源兵衛川が「世界かんがい施設遺産」に登録されたのを記念し、同市泉町の源兵衛川上流部に7日、登録記念の看板が設置され除幕式が開かれた。川を管理するNPO法人グラウンドワー

は「富士山の恵みの水による憩いの場所。かんがい施設遺産の価値を多くの人に知ってもらいたい」とあいさつ。GW三島とともに川を管理する中郷用土地改良区の白井幸太郎理事長は「これからも源兵衛川を大切に、素晴らしい三島づくりに取り組むたい」と話した。この日は市立坂小学校と福島県猪苗代町立翁島小学校の4、5年生が自然教室で川を訪れており、GW三島の渡辺豊博専務理事から川の歴史について説明を受けた。

源兵衛川は、室町時代後期に水田開発のため開削された用水路。昨年11月に世界かんがい施設遺産に登録された。

【石川宏】



設置した看板を前に小学生に川の歴史を話す(右から)渡辺豊博専務理事、小松幸子理事長—三島市泉町の源兵衛川横で